

西播磨地域に導入された盆・彼岸用小ギク品種の開花特性

現在、西播磨（姫路・龍野・光都）地域では‘ひょうご小ギクプロジェクト’の一環として、盆及び秋彼岸用小ギク切り花の産地育成が進められている。そこで、需要期の安定出荷を目的に、エセフォン及び電照処理に対する産地に導入された38品種の開花反応と開花日の地域差を調査した。

内容

1 エセフォン及び電照処理（2015年）

エセフォン処理は摘心日、摘心2、4週後の3回、エスレル10の500倍液を散布した。その結果、開花遅延効果は-1~26日の間で品種間差が認められた。電照処理は定植から毎日22~3時の5時間、白熱電球により照明した。盆用は6月20日、秋彼岸用は7月22日に消灯した。今回の消灯日では「しらなみ」「秋の紅」「中切小町」に開花遅延効果はなかった。到花日数は37~68日の間で品種間差が認められ、盆用が秋彼岸用より比較的短かった。処理によりいずれの品種も盆用は7月27日以降、秋彼岸用は9月14日以降の需要期に開花した。

2 開花日の地域差（2014年、2015年）

加西市、姫路市2か所、上郡町、山崎町の5地域で同一品種を同一年にほぼ同じ日に定植した。栽培方法は地域の慣行とし、開花日を比較した。ばらつきが小さい品種ほど気象が開花に及ぼす影響が小さいと考えられ、今後、開花日が年次変動し難い安定出荷品種の選定の参考となる。

普及上の注意事項

エセフォン及び電照処理の実験結果は品種ごとの反応性を検証したもので技術導入の指針となる。しかし、開花日においては地域ごとに再確認が必要である。本実験は姫路、龍野、光都普及センター、企画調整・経営支援部及びJA兵庫西との協力で実施した。

山中 正仁（農産園芸部）

（問い合わせ先 電話：0790-47-2424）

表 小ギク品種の開花特性

盆用					秋彼岸用				
色	品種 ²	エセフォン		地域間の開花日のばらつき (標準偏差)	色	品種 ²	電照		地域間の開花日のばらつき (標準偏差)
		遅延日数 ³	遅延日数 ³				遅延日数 ³	遅延日数 ³	
赤	あやか	16 (7/29)	16 (7/29)	39	赤	秋の紅	3 (9/24)	0 (9/21)	61
	まおみ	14 (7/29)	19 (8/3)	44		うたい	7 (9/21)	4 (9/18)	58
	美砂	19 (8/3)	12 (7/27)	37		カレン	6 (9/16)	6 (9/16)	56
	広島紅	14 (7/27)	21 (8/3)	44		こちょう	0 (9/21)	4 (9/25)	65
	ちあき	19 (8/7)	17 (8/5)	46		小林小町	6 (9/17)	10 (9/21)	61
	紅愛	14 (7/29)	22 (8/6)	47		みゆき	10 (9/20)	8 (9/18)	58
白	流星	17 (7/30)	22 (8/4)	45	梓	17 (9/14)	17 (9/14)	54	
	いつき	8 (7/29)	14 (8/4)	45	銀星	7 (9/21)	7 (9/21)	61	
	しらかば	19 (8/3)	19 (8/3)	44	すいこ	6 (9/16)	6 (9/16)	56	
	ふみ	10 (8/3)	12 (8/5)	46	てかがみ	14 (9/21)	14 (9/21)	61	
	しらなみ	9 (8/20)	0 (8/11)	52	天伯	17 (9/14)	13 (9/10)	50	
	品子	12 (7/27)	27 (8/11)	52	白水	9 (9/10)	9 (9/10)	50	
黄	大谷	21 (8/10)	24 (8/13)	54	かかし	13 (9/20)	11 (9/17)	58	
	小鈴	8 (7/29)	8 (7/29)	39	黄銀星	8 (9/15)	10 (9/17)	57	
	かすみ	23 (7/29)	23 (7/29)	39	秀月	10 (9/17)	14 (9/21)	61	
	翁丸	11 (7/24)	23 (8/5)	46	黄すごろく	7 (9/14)	8 (9/15)	55	
	こなつ	9 (7/29)	16 (8/5)	46	中切小町	-1 (9/28)	-1 (9/28)	68	
	たまぶき	7 (8/10)	4 (8/7)	48	ピース	14 (9/21)	9 (9/16)	56	
	けいと	26 (8/9)	22 (8/5)	46	ゆみや	13 (9/14)	15 (9/16)	56	

²定植日：盆用4月16日、秋彼岸用：5月18日 ³無処理との差、カッコ内は開花日（月/日） ⁴消灯日から開花日までの日数